

Photo Sketch

4/15 親子で見守る衣替え
陶史の森でヒツジの毛刈り



陶史の森でヒツジの毛刈りが行われました。会場は多くの親子連れでにぎわい、7頭のヒツジが次々と身軽になる様子を、皆でワクワクしながら見守りました。刈り取られたふわふわの毛は、9月に開催予定の「陶史の森まつり」で、羊毛マスコット作りの材料として使われます。今から秋のイベントが待ち遠しくなる、すてきなひとときでした。

4/19 見て、体験して芸術に浸る
土岐市文化団体連盟祭



土岐市文化団体連盟祭の展示部門が4月18日・19日の2日間、セラトピア土岐で開催されました。陶芸や絵画、書道、水墨画、生け花など13団体の約230点の力作が並び、来場者は熱心に作品をのぞき込んでいました。書道の実演や絵手紙教室のワークショップ、お茶席もにぎわいを見せ、訪れた方は春の豊かな芸術の時間を楽しみました。

4/20 春風が運ぶ、甘い香り
中山神明神社の藤棚



土岐津町の中山神明神社の境内にあるフジが花を咲かせました。地元の方が昨年11月から剪定作業など丹念に世話をを行ったフジは、紫、白、ピンクの「花のカーテン」を作り出しました。風に揺れるたび、辺り一面に甘い香りが優しく広がり、訪れた人は写真撮影をしたり、藤棚の下を歩いたり、思い思いに美しい花と香りを楽しんでいました。

4/21 「家族を守ってあげたい」
姉妹で防災士の資格を取得



妻木小学校5年生の渡邊^{めいさ}萌紗さんが防災士の資格を取得しました。9歳での資格取得は岐阜県内では最年少で、姉の^{ゆい}惟花さんに並ぶ3人目の快挙となりました。萌紗さんは能登半島地震をきっかけに「家族を守ってあげたい」と決意。猛勉強の末、試験を突破しました。防災士の資格を生かして「まちの人達に防災について教えてあげたい」と意気込みを語ってくれました。